

中央区環境情報誌

中央区ホームページ <http://www.city.chuo.lg.jp>



表 家庭でできる主な節電行動

	節電対策メニュー	節電効果	
		削減率	削減電力
エアコン	室温28℃を心がけましょう。	10%*1	130W*1
	“すだれ”や“よしず”などで窓からの日差しを和らげましょう。	10%	120W
	無理のない範囲でエアコンを消して、扇風機を使いましょう。	50%	600W
冷蔵庫	冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品をつめこまないようにしましょう。	2%	25W
照明	日中は照明を消して、夜間も照明をできるだけ減らしましょう。	5%	60W
テレビ	省エネモードに設定するとともに画面の輝度下げ、必要な時以外は消しましょう。	2%*2	25W*2
温水洗浄便座	便座保温・温水のオフ機能、タイマー節電機能があれば、これらを利用しましょう。 上記の機能がなければ、コンセントからプラグを抜いておきましょう。	1% 未満*3	5W*3
ジャー炊飯器	早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫に保存しましょう。	2%	25W
待機電力	リモコンの電源ではなく、本体の主電源を切りましょう。長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜いておきましょう。	2%	25W

エアコンの控え過ぎによる熱中症にお気をつけください。

- *1 設定温度を2℃上げた場合
- *2 標準→省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合
- *3 いずれかの対策を実施した場合



「自然エネルギー・省エネルギー機器等導入費助成制度」詳しくは、「区HP」暮らしに便利な情報↓環境↓自然エネルギー機器・省エネルギー機器等の導入に関する助成金をご覧ください。

「自然エネルギー・省エネルギー機器等導入費助成制度」詳しくは、「区HP」暮らしに便利な情報↓環境↓自然エネルギー機器・省エネルギー機器等の導入に関する助成金をご覧ください。

区の制度を上手に使う

家庭での省エネを支援する区の制度を上手に使い、節電に取り組みましょう。

節電強化のお願い

去る三月十一日に発生した、東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災されました皆さま方に心からお見舞い申し上げます。

震災などの影響により東京電力管内では、特に冷房需要が大きい夏期平日の日中(九時~二十時)の電力不足が懸念されています。このため、国は今夏の最大電力を企業・家庭ともに昨年に比べて十五%減らす目標を打ち出しています。夏の電力不足を乗り切るため、「家庭でできる節電行動」(左表)の取り組みにご協力をお願いいたします。

節電効果の確認

電力会社から送られてくる「電気ご使用量のお知らせ」(検針票)を見れば、節電の効果を確認することができます。詳しくは下図の「電気ご使用量のお知らせ」で節電効果をチェックしてください。

家庭には千ワットを上回る電気製品がたくさんあります。消費電力の大きい電気製品(注)は、平日の日中を避けて使いましょう。

(注)電気ポット、食器洗い乾燥機、オーブントースター、掃除機、ドライヤー、洗濯乾燥機、電子レンジ、アイロン、IHクッキングヒーター等

図 「電気ご使用量のお知らせ」で節電効果をチェック

1 ①使用量 2 ②使用日数 3 ③1310kWh 4 ④6,653円 5 ⑤基本料金 6 ⑥燃料費調整 7 ⑦口座振替割引 8 ⑧前年使用量 9 ⑨前年使用日数 10 ⑩前月の1日あたりの使用量(①使用量÷②使用日数)と前年同月の1日あたりの使用量(③前年使用量÷④前年使用日数)を比較することで、節電の効果を確認できます。

中央区版二酸化炭素排出抑制システム 認証事業所・第4号

株式会社 サテイスフアクトリーインターナショナル

「省エネだけをとらえるのではなく、 社会問題全体に関心を持ち、取り組む姿勢が大事」



外からの採光を生かし、不要な蛍光灯は間引いて節電

企業や団体に対して廃棄物のマネージメントを行って、株式会社サテイスフアクトリーインターナショナル。自社においてもさらに環境問題への意識を高めよう、助成を利用して省エネ設備も導入しよう、中央区版二酸化炭素排出抑制システムに参加しました。「もともと省エネ対策も意識していた」と語る小松武司社長は、システムへの参加をごくあたりまえの自然な流れ

れとしてとらえ、こうした社会問題に意識を向けることそのものの重要性を強調しています。

具体的な取組内容を教えてください。

「節電についていえば、使わない電気機器の撤去や無駄な照明などの間引きはもちろん、会議室では日中はブラインドを上げて外からの明かりをとり、今でも照明は点けません。」

要は手元の照度が最適であればいいわけですから、細かく照度計で計って支障のないように調整しました。

三月の東日本大震災でさらに社員の節電意識は高まり、ビル内のエレベーターは使わないようにしようという声が自然に上がりました。今では、社員のエレベーター使用を控えるとともに、当社にお越しになる方にも階段の利用を呼び掛けています。

電灯や空調での節電など、省エネ対策を継続しておられますが、従業員の方々の理解度はいかがですか？

「日頃から環境教育をしていますから、こちらが巻き込むというより社員の側からアイデアが出てきて、こんなふうにやってみようという運営してくれています。」

CO₂削減における数値的成果のほか、得られたものは何でしょうか？

「社員の意識変化が大きいですね。中央区版二酸化炭素排出抑制システムに取り組んだことで、今まで常識だと思っていたことが(照明に関



「社会問題全体が自分たちの問題と考える企業をつくりたい」と小松社長

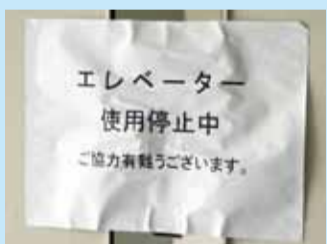
しては)「今までが明るすぎたんだ」と気づいたので。固定観念みたいなものが変わるといふか、打ち破るといふとちよつと違うと思えますが、意識の変化は大きいですね。」

今後の課題はありますか？

「今まで行ってきた取り組みは主に運用改善でしたが、これはもうやりつくした感があります。今後は中央区の省エネルギー機器等の導入に関する助成制度を活用して、設備についても改善したいと思っています。設備投資の費用負担は大きいですが、助成制度を上手に利用して、二酸化炭素の排出抑制にさらに貢献していきたいです。」



環境問題への取組意識の高さを表す数々の認証書(左から2番目が中央区版二酸化炭素排出抑制システムの認証書)



会社フロアへのエレベーター使用は不可。エレベーターの中にも表示している



照度を計測することで明るさへの意識も高まった

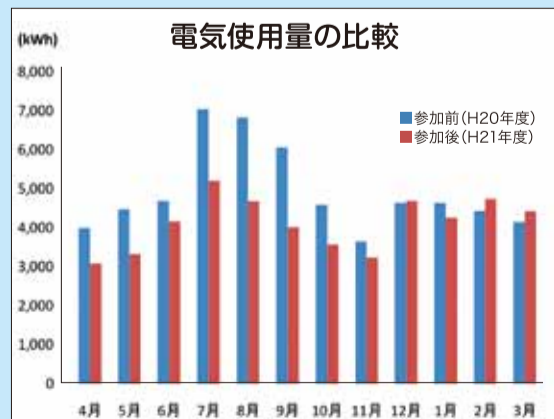


電化製品の消費電力を測定する機器も活用

参加事業所募集中!

地球温暖化の原因である二酸化炭素排出量の削減をめざし、事業所や家庭でも容易に取り組める仕組みが「中央区版二酸化炭素排出抑制システム」です。区では、ただいま参加される事業所を募集しています。活動状況や目標達成状況などによって区から認証書を交付します。事業活動に伴う光熱費の削減のほか、省エネルギー機器などの導入経費助成制度の優遇を受けることができます。家庭での取り組みも含めて、システムの詳細については下記までお問合せください。

● 問合せ先 環境政策課温暖化対策推進係 ☎03(3546)5406
<http://www.city.chuo.lg.jp/kurasi/kankyo/stopco2/bizsystem/index.html>



中央区の森へようこそ!

森林にあるたくさんの樹木は地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収するという大切な役割を果たしています。

中央区では、平成十八年度から、間伐や枝打ちなど森林保全活動を支援する「中央区の森」事業を進めています。森林を荒廃から守り、育てるため、檜原村にある約三十七・四ヘクタールの「中央区の森」において森林保全活動を行うNPO法人への支援を行っています。

「中央区の森」は登山道に接しています。浅間尾根登山口からハイキングコースが整備されていますので、山歩きがお好きな方にもお楽しみいただけます。

また、年二回「中央区の森」体験ツアーを実施しており、多くの方にご好評をいただいております。今年も実施する予定ですので、みなさまのご応募お待ちしております。

中央区の森寄附金へのご協力ありがとうございました

中央区の森寄附金にご賛同いただきましたありがとうございます。平成二十三年三月末現在での寄附金合計額は三百四十四万六千七百五十七円になりました。この寄附金は「中央区森とみどりの基金」に積み立て、森林保全活動を行う団体への活動費助成等に使われています。

平成二十二年度にご寄附をいただいた方(順不同)

個人

喜納稔様、鷲坂忠明様、加藤由美子様 他二名

団体

株式会社ジェーシーピー、株式会社エコソリュション様、中洲あやめ会様、東京日本橋西ロータリークラブ様、アブ・カム株式会社様、株式会社本舎様、三菱製紙販売株式会社様、茅場町二・三丁目会様、株式会社ミルックス様、晴海アイランドトリトンスクエア様



中央区の森へ行こう!

<http://www.city.chuo.lg.jp/kurasi/kankyo/chuonomori/index.html>



中央区の森の炭を使ってみませんか?

昨年から、使われなくなっていた炭焼き小屋を復元し、「中央区の森」の間伐材を利用した炭を製作しています。区内にある三つのデイキャンプ場(築地川公園デイキャンプ場・浜町公園デイキャンプ場・豊海運動公園デイキャンプ場)でこの炭を使い、アン



千円以上のご寄附をいただいた方には、「中央区の森」の間伐材を使用したオリジナルノベルティグッズを差し上げております。グッズは、ペン立て、キーホルダー、ストラップがあり、お好きなものをお選びいただけます。



ケートにご協力してくださる方を募集しています。試行錯誤しながらつくった炭なので市販の炭と同等の効果は出ないかもしれませんが、みなさまのご意見を参考にしながら、今後の炭製作に役立てていこうと思っています。なお、炭のお試しは先着順です。炭のお申し込みについては、各デイキャンプ場にお問い合わせください。

「中央区の森環境ふれあい村構想」を策定しました

地球温暖化対策事業である「中央区の森」は、今年で6年目を迎えました。今後の中央区の森事業をより良いものとするために、平成二十三年三月に「中央区の森環境ふれあい村構想」を策定しました。この構想は、「中央区の森」において、CO₂の吸収源となる森林を荒廃から守り・育てるため、地元NPOの支援や間伐材等の活用を進めていくとともに、檜原村の歴史・自然などを理解しながら交流を促進することにより、地球温暖化対策や環境学習の場としての機能のさらなる充実を図ることを目的としています。



【問合せ先】 中央区環境土木部水とみどりの課環境活動係 中央区築地1-1-1 ☎03(3546)5654

お知らせ

★中央区子ども環境サミット2011

7月9日(土)9:00-12:10 中央会館「銀座ブロッサム」
【問合せ先】教育委員会庶務課庶務係 (3546)5503

★花と苗木の即売会

10月14日(金)浜町公園/10月15日(土)月島第一児童公園
【問合せ先】環境土木部水とみどりの課緑化推進係 (3546)5629

★中央区の森体験ツアー 7月下旬 区のお知らせ7月10日号またはホームページをごらんください。

★子どもとためす環境まつり 11月26日(土)

★フリーマーケット 9月10日(土)佃公園/11月12日(土)浜町公園

★リサイクル教室 毎月、題材を変えて実施しています。

【問合せ先】環境土木部水とみどりの課環境活動係 (3546)5654

環境にやさしい舗装技術

■遮熱性舗装

真夏の日中、アスファルトに覆われた道路の路面温度は最高約60℃にまで達します。都市部の道路はそのほとんどがアスファルトに覆われているため、これが都市の気温上昇の一因となっていると言え



ます。中央区内の道路の舗装率は一〇〇%であり、区の面積に占める道路の割合は約二十九パーセントと二十三区で最も高い割合となっています。区内のより良い環境を目指し、中央区では環境にやさしい道路舗装として『遮熱性舗装』を取り入れています。

■遮熱性舗装のしくみ

遮熱性舗装とは、特殊な塗料をアスファルトに塗ることによって、道路の路面温度を低減させる効果のある舗装です。その塗料には太陽の日差しを反射させる反射材や特殊な顔料が含まれています。アスファルトには熱を吸収し、蓄えや

すい性質がありますが、遮熱性舗装を施すと日差しを跳ね返すことでアスファルト内の蓄熱を少なくすることができ、これにより日中の路面温度上昇を抑えるとともに、蓄熱の低減による熱帯夜の防止効果も期待できます。

現在中央区ではアスファルト



トの面積が大きい、広幅員の道路に順次、遮熱性舗装を実施しています。

【参考】

現在遮熱性舗装が

施されている道路(区道)

- ・清洲橋通り(一部)
- ・人形町通り(一部)
- ・鍛冶橋通り(一部)
- ・八重洲通り(一部)

なお、清洲橋通り沿いの浜町公園入口には、その時々々の遮熱性舗装と通常の舗装の温度を計測し、表示しています。遮熱性舗装の効果を比べて見ることができるので、是非ご覧ください。



道路・公園等で節電対策を行っています。

区では東日本大震災の影響による電力不足に対する節電対策のため、区道の街路灯の一部と区立の公園・児童遊園等の照明の消灯などを行っております。

今後は従来の街路灯より消費電力が少ないLED灯を段階的に採用していく予定です。

●節電詳細

■道路

幅員十一メートルを超える区道の街路灯及び他の道路より明るい商店街灯を対象として、交差点付近を除き、5割程

度の消灯をしています。

■公園・児童遊園

区立の公園・児童遊園の照明を消灯しておりますが、夜間の安全を確保するため一部点灯している場所もあります。

■その他

隅田川テラスの照明、橋のライトアップ、噴水や流れの休止。ただし、衛生上循環させている場所もあります。

●実施期間

平成二十三年三月二十三日から実施しており、再点灯時期は未定です。



●区のホームページでも情報を提供しております。

●問合せ先

■道路の節電については

環境土木部水とみどりの課

TEL(3546)5437

■公園・児童遊園の節電については

環境土木部水とみどりの課

公園河川係

TEL(3546)5435



節電消灯作業中



店を開くのも掘り出し物を見つけるのも楽しいフリーマーケット



多くの親子連れが手回し発電機に挑戦



好きな画材で絵を描くマイうちわ作り

第8回エコまつりは大盛況でした！

六月五日(日)、あかつき公園と中央区保健所で「第8回エコまつり」が開催されました。「ひとりひとりができるエコを実践しよう」をテーマにスタンプラリー形式で、さまざまなコーナーを楽しめる催しです。当日は、天候にも恵まれ二、二〇人の来場者がありました。



ごみの中から復活した三輪車も抽選で子どもたちのもとへ

フリーマーケットは、七十一店舗が並び、お店を広げるやいなや人だかりができるほどの人気ぶりでした。保健所内では、オリジナルマイうちわや、「中央区の森」の間伐材を使ってマイペン立てを作るコーナーなど子どもだけでなく大人も楽しみながらも真剣な表情で取り組んでいました。

あかつき公園では、まだ使えるものを無料提供する「ごみの中からこんなもの展」や「リサイクル自転車の販売」コーナーでは、抽選で当選者が決まるたびに喜びの声や拍手が響き渡りました。一本の木の二酸化炭素吸収量を計算するコーナーや、クイズ形式で節電を学ぶ「節電ミニ講座」では、多くの人が地球環境問題を身近なものとしてとらえられたようです。生ごみの堆肥で育てたキャベツのスープの試食も大賑わいでした。エコまつりを通じて、リサイクルやリユース(再利用)の意義も高められたのではないのでしょうか。